

菅野泰紀 鉛筆艦船画展「肖像 一序 日いつる国の防人たち」

靖國神社遊就館・記念艦三笠・防衛大学校での企画展で展示された鉛筆艦船画のうち、呉ゆかりの艦たちが集結—



鉛筆艦船画家

菅野 泰紀 (すがの ひろゆき)

昭和 57 年 12 月 23 日 生まれ

ART STUDIO 楓 -fu-

電話 : 06-6717-3565 FAX : 06-6731-2906

E-mail : jakee.sgn@gmail.com

ウェブサイト : <http://artstudio-fu.com>

facebook : <https://www.facebook.com/artstudiofu>

twitter : <https://twitter.com/ArtStudiofu1>

奉納・寄贈先一覧

絵画奉納 : 市房山神宮里宮神社・射水神社・石清水八幡宮・温玉殿 (台湾澎湖島)・大國魂神社
大阪護國神社・大和神社・樞原神宮・香取神宮・護王神社・住吉神社 (山口)
建水分神社・椿大神社・日岡神社・日吉大社・広島護國神社・靖國神社
龍山寺 (台湾澎湖島)

絵画寄贈 : 岩国航空基地・呉市・呉地方総監部・公益財団法人三笠保存会
公益財団法人モラロジー研究所・戦艦ミズーリ記念館 (ハワイ)・護衛艦 こんごう
マーシャル諸島共和国立アレレ博物館ほか (すべて 50 音順)

初の画集、好評販売中！

靖國神社遊就館での展示会を記念して、
製作した画集を販売開始！
売り上げは基金として、今後の奉納活動
費に充てさせていただきます。

定価 ¥3500 (税別)



靖國神社遊就館特別企画 (平成 29 年)・記念艦三笠企画展 (平成 30 年)・防衛大学校総合情報図書館
企画展 (平成 30 年) として、私がこれまでに制作し神社へ奉納してまいりました作品を集めた奉納展示
会を開催することができました。ご支援下さる皆様への感謝をこめて、報恩の一環として、この度ここ
澎湃館にて呉にゆかりある艦を描いた鉛筆画展を開催する運びとなりました。

私が艦船に興味を持つようになったのは、戦地に行った祖父や内地で空襲を経験した祖母の話、父か
ら聞いた戦艦 大和の最期の話などを聞き、大きな衝撃を受けた幼少の頃に遡ります。

鉛筆艦船画と呼べるものを描き始めたのは、今から 9 年前。不意に懐かしくなり、戦艦 攝津を鉛筆
で描き、更に何作品か描いた頃、幸いに個展開催のご提案を頂きました。その個展を通じ靖國神社のみ
たままつりに揮毫雪洞を奉納させていただくことにもなりました。また、展示会や慰霊祭などで、元乗
組員の方々に絵を見ていただき、当時のお話を直接伺う機会にも恵まれました。実際にその場にいた者
にしか語れない、情景や感情の記憶に触れ、かつて艦に乗り組んでいた一人一人に思いを致すようにな
り、制作時に常に心に留めるようになりました。そしてそのような思いで描いた作品を所縁ある神社へ
奉納したいという思いが、私の中に生まれたのです。

奉納する絵は、軍艦の肖像画であると同時に、そこに乗り組んだ将兵たちの肖像画でもあります。波
濤を越える艦の上には、小さいながらも将兵たちを描き込んであります。それは一人一人、かつて祖国
を遠く離れて命がけで戦った先人達の存在を象徴しているのです。作品が戦没者の慰霊顕彰祭で掲げら
れたときに、参列されたご遺族や関係者が、英霊たちと艦に純粋に思いを馳せ誇りに思ってもらえるよ
うに、私は強い使命感を持ち、その姿を描き続けています。

今この時も、実際に戦争を経験された方々と交流する機会が永遠に失われつつあります。しかし、そ
のような中であっても、絵を通じて戦争経験者の方々とつながりを持つことは、私にとっては一生の
財産と呼べるほどに尊い巡り合わせでした。この度の展示会を通じて、私の鉛筆艦船画が皆様と 70 年以
上前の戦前日本をつなぐ 1 つの架け橋になり、あの過酷な時代を懸命に生き、私達に命のバトンをつ
ないで下さった先人たちに思いを馳せるきっかけとなれば、私にとってこれ以上の喜びはありません。

ART STUDIO 楓 -fu-
鉛筆艦船画家

菅野泰紀